

川村 成二 議員



Q 学校における働き方改革の取り組みについて伺う

A 業務改善に向けた取り組み方針の策定を検討してまいります

Q 教職員に対する働き方改革については、過重な労働負荷があるとの声は聞かれるものの、具体的な対策が現場任せになっていく傾向にある。学校における働き方改革の今後の取り組みについて、教育委員会の対応と具体的な方策を伺う。

A 教育長 学校における教職員の長時間勤務の問題は喫緊の課題と捉えており、現場における業務改善に向けた取り組み方針の策定を検討してまいります。また、働き方改革に有効と考えられるICT機器の利用に係る調査検討もしたいと考えております。

Q 環境を損なわず持続可能性のある社会の構築を目的に、スマートシティというコンセプトが注目され、世界的にもスマートシティの取り組みが拡大している。本市の特徴を生かし発展するための方策としてスマートシティの取り組みの可能性について伺う。

A 市長 現在、香川県高松市において観光と防災の分野にデータ活用をした先進的な街づくりが進められております。レンタサイクルを活用したデータ収集活用で来訪者の位置情報を収集分析して観光資源の発掘につなげる取り組みや、水路に水位センサーを設置し災害に備える取り組みをしております。本市におきましても大変参考になる先進事例であり、より安心・安全で住みやすいまち、また来訪者にとって楽しく魅力のあるまちづくりに向け調査研究を進めてまいります。

質問事項

321 学校における働き方改革の取り組みについて本市におけるスマートシティの取り組みについてかすみがうら市ホームページの改善について



田谷 文子 議員



Q イノシシの出没に対する対応について伺う

A 捕獲対象エリアは広がっており緊急的に対応しております

Q 上稲吉地区でもイノシシが出没しているとの声が寄せられ、農作物の被害や、子どもたちの通学路の安心安全が懸念されています。平地におけるイノシシ出没に対する対応について伺う。

A 都市産業部長 近年、イノシシの出没状況は増加傾向にあり、平地でも農作物の被害情報や目撃情報が寄せられ、有害鳥獣捕獲対象地区のエリアは年々広がっております。平成30年度は捕獲活動を千代田地区で4回、霞ヶ浦地区で2回実施する予定であり、農作物被害及び目撃情報が多数寄せられている地域は緊急的に対応するなど、個体数抑制ならびに農作物の被害軽減に努めているところでです。

Q スマートインターチェンジを整備することによる産業復興・地域の活性化・利便性の向上などの具体的な政策について伺う。

A 市長公室長 具体的な効果として、1点目に物流の効率化による地域の産業の活性化、2点目として居住者・来訪者の利便性の向上、3点目として国道6号線の渋滞緩和などが期待できるところです。本市の発展に大きな可能性をもたらすものですので、これからも調査研究してまいりたいと考えております。

質問事項

21 有害鳥獣捕獲事業の現状と課題及び今後の対応について坪井市長の今後の政策について



▲捕獲されたイノシシ (上佐谷)

古橋 智樹 議員



Q 市街地整備が進む中、近隣市との将来的整合、少子高齢化、公
共施設の維持経費を踏まえ、市街化区域の都市計画税などの財源を
後世のため長期的に検討する取り組みについて市の考えを伺う。

Q 後世のため財源を長期的に検討する
取り組みについて市の考えを伺う

A 国庫補助や起債など有効な財源や民
間資金の活用で対応したい

A 市長 本市では平成26年度に公共施設マネジメント基本計画
を策定し、公共施設やインフラ施設の更新時期と更新費用につい
てシミュレーションを行っております。2040年代にはそれぞ
れの更新時期が集中する見通しとなり、40年間で総額900億円
を超える試算も出ております。施設の更新には、国庫補助や起債
など有効な財源や民間資金の活用などで対応したいと考えており
ます。都市計画税につきましても今後議論の対象となると考えて
おります。

Q かすみがうら市は神立駅前の市街地整備によって、土浦市
との連携でより防犯体制を整えなければならぬ。地域格差の
解消などを検討する取り組みで事故を未然に防ぎ安全を追及す
るということについて本市の考えを伺う。

A 市民部長 土浦市では171自治会のうち168団体で防
犯組織化がされており、本市では182自治会のうち28団体で
はありますが、人口が密集している自治会ではおおむね防犯組
織が結成され活動していただいております。地域の見守りや声
かけが犯罪防止上有効であることが明らかとされており、近隣の動向を注視しつ
つ防犯組織の活動支援に取り組んでまい
ります。

質問事項

21 次世代へ遺す我が市現世代の責任について
近隣市防犯整備との比較について



矢口 龍人 議員



Q 神立駅も一部供用開始され、駅利用者の市民からエスカレー
ターを望む声を多く聞くようになった。神立駅自由通路整備にあ
たってエスカレーター設置の検討がされたか伺う。

Q 神立駅自由通路整備にあたってエス
カレーターの設置検討をしたか伺う

A 平成24年度設計の際に建設コストや安全性を考
慮し不採用とした経過があると聞いております

A 都市産業部長 神立駅自由通路については土浦市が事業主体
となっており、平成24年度の実施設計の際に建設コストや安全性
を考慮し不採用とした経過があると聞いております。新たに設置
する場合は工事のやり直しや建設コストが膨大になり設置は非常
に難しいと聞いております。現在設置してあるエレベーターは待
ち時間も少なく、駅前広場が完成するとタクシー乗降者スペース
から近い距離にあり利便性が高くなると思われれます。

Q 地域組織・ネットワークを生かした協力体制の構築につい
て、現在の自治会・区長会・子ども会などの既存ネットワークを
生かし、ごみ分別の現状課題など、市民が協力できる体制を整え
る計画の実施状況について伺う。

A 市民部長 今後の取り組みとしまして、昨年作成し全戸配布
を行っております「みんなのごみゼロ大作戦」と称しましたパン
フレットを用いた啓発活動を展開してまいりたいと考えておりま
す。さらに、今年度設置いたしますかすみがうら市廃棄物減量化
推進審議会におきましてごみ減量及びびりサイクルに特化した審議
を行い、循環型社会の構築に向け推進して
まいります。

質問事項

1 神立駅前周辺の整備で賑わいある街づくり構想につい
て(坪井市長選挙公約)
2 ごみ処理基本計画の基本理念「みんなのごみゼロ大作
戦!」(きらきら) 豊かなめぐみ野 かすみがうら市
環境負荷の少ない循環型社会の構築について



▲ JR 神立駅



議員 健夫 設楽

Q 市長等政治倫理条例制定について検討されたか伺う

A 旧霞ヶ浦町の例や前市長が提出して廃案となった案などを再確認いたしました

Q 市長等政治倫理条例制定14回目の質問。市民の権利として調査請求権を定める市長等政治倫理条例制定について、ご答弁の過去の例のひとつ平成25年に提案された内容の審議経過、あるいは弁護士に照会した内容についても検討をされたのか伺う。

A 市長 過去の例、旧霞ヶ浦町の政治倫理に関する条例や平成25年に前市長が議会提出して廃案となりました政治倫理条例案、県内の政治倫理条例などを再確認いたしました。詳細については調べてございません。

Q 霞ヶ浦南小学校放課後児童クラブにおける改善と霞ヶ浦地区児童館設立についての現状を伺う。

A 保健福祉部長 霞ヶ浦南小放課後児童クラブと保育所におきまして、毎月協議を行い、実際に利用する児童・生徒がよりよい環境で過ごせるような方策を今後も検討していきたいと思っております。霞ヶ浦地区の児童館設立につきましては、現在、旧宍倉小学校への機能移転のため空き施設となる予定の現霞ヶ浦保健センターの再利用について、公共施設等マネジメント基本計画を踏まえた中で、子育て支援事業や児童館全体のあり方も含めて検討を始めております。

質問事項

- 1 市長等特別職の政治倫理条例の制定について（前回答弁「機運醸成を図る。過去の例を少し調べてみたい。」）地区公民館とあゆみ祭りに関する要望書について
- 2 小中一貫教育を軸とした教育環境の整備（霞ヶ浦南小学校放課後児童クラブ改善）について
- 3 霞ヶ浦地区道路及び公共交通行政について（協同病院への道路（田村沖宿線延伸道路）整備とバス路線、霞ヶ浦地区県道バス路線、宍倉玉里線整備について）
- 4



議員 文雄 佐藤

Q 現有施設（環境クリーンセンター）、かすみがうら市単独での運営は可能ではないか伺う

A コストと将来の安定という総合的判断により、現有施設の活用は考えておりません

Q 新治地方広域事務組合の環境クリーンセンター（焼却能力：日当り120トン（60トン×2炉））は現在、当市と旧八郷町及び旧新治村のごみ処理を行っている。今後、旧八郷町と旧新治村のごみ処理が不要となれば、当市だけの可燃ごみ量は日当り46トンであるから60トンの1炉で十分間に合う。当市単独で運営は可能ではないか。壊すのもつたいない。

A 市長 平成26年3月の精密機能検査報告書では「次期施設建設に着手すべき時期にきている」との総合所見が出ています。新治地方広域事務組合の構成市である土浦市は、清掃センターの長寿命化に着手し、石岡市と当市は共同で新広域ごみ処理施設建設を進めている状況であり、コストと将来の安定という総合的な判断の中、現有施設を現状のまま活用することはないと考えています。

Q 学校給食費の無料化を段階的にも実施できないか伺う。

A 教育長 一部無料化も含めて検討している段階ではないが、財源の確保について十分精査した上で、今後全く検討しないというわけではないとご理解いただければと思います。

質問事項

- 1 新たなごみ処理施設建設について
- 2 教育・子育て支援について
- 3 市職員の定員適正化について
- 4 大阪北部地震及び西日本大雨洪水災害について



来栖 丈治 議員



Q 地域公共交通再編実施計画の見直しについて伺う

A JR神立駅を核としたバス路線とデマンドタクシー事業のあり方を見直すものです

Q 本市では交通弱者の移動手段確保のため、路線バスとデマンド型乗り合いタクシーなどで事業者の協力をいただきながら事業を行ってきた。平成30年3月に策定された地域公共交通再編実施計画では見直しを図り持続可能な交通体系を構築することとなっているがその概要について伺う。

A 市長 本市では、高齢者等の交通弱者の移動手段を確保するため、これまで路線バスやデマンド型乗り合いタクシーを両立させてまいりましたが、デマンド型乗り合いタクシーの利用実態や事業継続に伴う費用対効果が課題となっております。このことからJR神立駅を核としたバス路線とデマンド型乗り合いタクシー事業のあり方を見直して本市の実情に合った交通体系の構築を目指すものであります。

Q 国民健康保険の給付について外国人による出産一時金などの詐欺疑惑のテレビ報道があり、貴重な私たちの保険料が詐取されることはあってはならないと考える。国民健康保険の詐欺詐取防止に関する国との連携について伺う。

A 市民部長 本年1月から国民健康保険資格を取得した外国人に関して在留資格の本来活動がされていない可能性があると考えられたときは入国管理局に通知するとされたところですが、本市においては通知する案件は発生しておりません。国においても全国的な課題の一つとして、効果的な取り組み方法を模索しているところかと考えられます。

質問事項

- 1 地域住民の移動手段の向上について（地域公共交通再編実施計画によって住民生活は向上するのか）
- 2 国民健康保険の保険料上昇抑制政策について



インターネットで本会議の生中継を行っております

本会議の生中継をインターネットを通じて、スマートフォン、パソコン、タブレット端末でご覧いただけます。

本会議開催中は市議会ホームページの「議会議中継」から、リアルタイムの中継がご覧いただけます。



▲市議会議会中継QRコード

（第3回定例会は延べ1100件のアクセス数がありました。）



議会にタブレット端末を導入しました

議会では資料のペーパーレス化、議会情報の伝達などを目的に平成30年6月より議員にタブレット端末を貸与し、試行的に運用を開始しております。

今後もさらなる議会運営の効率化を目指すとともに経費削減に努めてまいります。



▲タブレット端末を操作する議会だより編集特別委員会委員